



2021年4月27日

各位

会社名 ナノキャリア株式会社
代表者名 代表取締役社長 松山哲人
(コード番号：4571)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 藤本浩治
(TEL 03-3241-0553)

(訂正)「第三者割当による第5回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第19回新株予約権の募集に関するお知らせ」の一部訂正について

2021年4月23日付で開示いたしました「第三者割当による第5回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第19回新株予約権の募集に関するお知らせ」に関して、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 訂正の理由

「2. 募集の目的及び理由」、「3. 資金調達方法の概要及び選択理由 (1) 資金調達方法の概要」及び「11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況 (4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況 ⑥第三者割当による第18回新株予約権」の記載に誤りがあったため訂正するものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

【訂正箇所】

2. 募集の目的及び理由

<訂正前>

(前 略)

(注2) 当社は、パイプラインの研究開発費用の調達を目的として2018年4月に第16回新株予約権(行使価額修正条項付)を、資本・事業提携・新規事業費用及び研究開発費用の調達を目的として2019年5月に第17回新株予約権及び第18回新株予約権をそれぞれ発行しております。このうち、第16回新株予約権の行使による調達資金のうち、現時点までに充当未了である880百万円につきましては、当初の予定どおり2021年9月までの間におけるNC-6004をはじめとする開発パイプラインの研究開発費用に充当する予定です。また、第17回新株予約権は、行使期間中の当社株価の推移などにより発行時に見込んでいた調達予定資金の額3,009百万円に対し、実際の調達額は約1,915百万円に留まり、当初企図していた金額規模による資金調達を実現することができなかったため、当該新株予約権の行使による調達資金のうち、現時点までに充当未了である1,715百万円につきましては、主に2021年10月以降の研究開発費用に充当する予定であり、M&A等の資金ニーズが発生した場合には不足分について自己資金を充当し、又は今回の資金調達による資金の充当を行う予定です。

他方で、第18回新株予約権は現時点までに行使がなされておきませんが、第三者割当による本件発行証券の発行に伴い、第18回新株予約権の行使価額については、381.96円に調整されることとなります(当該調整後の行使価額の適用日は、2021年5月11日です。)。これにより、調整前と比較して第18回新株予約権の行使がされやすい状況にはなりますが、第18回新株予約権が行使されずに行使期間が満了した場合は、第18回新株予約権の行使に

より調達することを想定していた 2022 年 12 月までの研究開発資金及び M&A 費用の一部については、自己資金の充当又は新たな資金調達による調達を行う方針です。

<訂正後>

(前 略)

(注 2) 当社は、パイプラインの研究開発費用の調達を目的として 2018 年 4 月に第 16 回新株予約権(行使価額修正条項付)を、資本・事業提携・新規事業費用及び研究開発費用の調達を目的として 2019 年 5 月に第 17 回新株予約権及び第 18 回新株予約権をそれぞれ発行しております。このうち、第 16 回新株予約権の行使による調達資金のうち、現時点までに充当未了である 880 百万円につきましては、当初の予定どおり 2021 年 9 月までの間における NC-6004 をはじめとする開発パイプラインの研究開発費用に充当する予定です。また、第 17 回新株予約権は、行使期間中の当社株価の推移などにより発行時に見込んでいた調達予定資金の額 3,009 百万円に対し、実際の調達額は約 1,915 百万円に留まり、当初企図していた金額規模による資金調達を実現することができなかつたため、当該新株予約権の行使による調達資金のうち、現時点までに充当未了である 1,715 百万円につきましては、主に 2021 年 10 月以降の研究開発費用に充当する予定であり、M&A 等の資金ニーズが発生した場合には不足分について自己資金を充当し、又は今回の資金調達による資金の充当を行う予定です。

他方で、第 18 回新株予約権は現時点までに行使がなされておきませんが、第三者割当による本件発行証券の発行に伴い、第 18 回新株予約権の行使価額については、382.00 円に調整されることとなります(当該調整後の行使価額の適用日は、2021 年 5 月 11 日です)。これにより、調整前と比較して第 18 回新株予約権の行使がされやすい状況にはなりますが、第 18 回新株予約権が行使されずに行使期間が満了した場合は、第 18 回新株予約権の行使により調達することを想定していた 2022 年 12 月までの研究開発資金及び M&A 費用の一部については、自己資金の充当又は新たな資金調達による調達を行う方針です。

3. 資金調達方法の概要及び選択理由

(1) 資金調達方法の概要

<訂正前>

(前 略)

今回の資金調達は、当社が割当予定先に対し、転換期間を約 2 年 7 ヶ月間とする本新株予約権付社債(調達額 1,150,000,000 円)及び行使期間を約 2 年 7 ヶ月間とする本新株予約権(最大調達額 3,000,000,000 円)を第三者割当の方法によって割り当てるものです。本新株予約権付社債においては、発行時点において 1,150,000,000 円の資金が調達でき、本新株予約権においては、段階的に資金を調達できる仕組みとなっております。また、当社は、当社の判断により、本新株予約権付社債の一部又は全部の償還を行うこと及び本新株予約権の一部又は全部を取得することができます。

<訂正後>

(前 略)

今回の資金調達は、当社が割当予定先に対し、転換期間を約 2 年 7 ヶ月間とする本新株予約権付社債(調達額 1,150,000,000 円)及び行使期間を約 2 年 7 ヶ月間とする本新株予約権(最大調達額 3,002,903,660 円)を第三者割当の方法によって割り当てるものです。本新株予約権付社債においては、発行時点において 1,150,000,000 円の資金が調達でき、本新株予約権においては、段階的に資金を調達できる仕組みとなっております。また、当社は、当社の判断により、本新株予

約権付社債の一部又は全部の償還を行うこと及び本新株予約権の一部又は全部を取得することができます。

11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

⑥ 第三者割当による第18回新株予約権

<訂正前>

割 当 日	2019年5月13日
発行新株予約権数	78,400個
発行価額	7,056,000円(第18回新株予約権1個当たり90円)
発行時における調達予定資金の額	3,009,776,000円
割 当 先	ウィズ・ヘルスケアファンド 56,501個 THE ケンコウ FUTURE ファンド 21,899個
募集時における発行済株式数	49,456,584株
当該募集による潜在株式数	7,840,000株
現時点における行使状況	行使済株式数：一株 (残新株予約権数 78,400個)
現時点における調達資金の額	－円
発行時における当初の資金用途	① 資本・事業提携・新規事業費用 ② 基礎研究・開発パイプラインの研究開発費用
発行時における支出予定時期	① 2019年5月～2022年4月 ② 2020年1月～2022年12月
現時点における充 当 状 況	－

(注) 第三者割当による本件発行証券の発行に伴い、第18回新株予約権の行使価額については、381.96円に調整されることとなります。当該調整後の行使価額の適用日は、2021年5月11日です。

<訂正後>

割 当 日	2019年5月13日
発行新株予約権数	78,400個
発行価額	7,056,000円(第18回新株予約権1個当たり90円)
発行時における調達予定資金の額	3,009,776,000円
割 当 先	ウィズ・ヘルスケアファンド 56,501個 THE ケンコウ FUTURE ファンド 21,899個
募集時における発行済株式数	49,456,584株
当該募集による潜在株式数	7,840,000株
現時点における行使状況	行使済株式数：一株 (残新株予約権数 78,400個)
現時点における調達資金の額	－円

発行時における 当初の資金用途	③ 資本・事業提携・新規事業費用 ④ 基礎研究・開発パイプラインの研究開発費用
発行時における 支出予定時期	③ 2019年5月～2022年4月 ④ 2020年1月～2022年12月
現時点における 充 当 状 況	—

(注) 第三者割当による本件発行証券の発行に伴い、第18回新株予約権の行使価額については、382.00 円に調整されることとなります。当該調整後の行使価額の適用日は、2021年5月11日です。

以上